

地域社会圏 -助け合って住む-

一つの町内会(約400世帯・1300人)＝「地域社会圏」



1 すべての横浜市民は
安全で快適な住宅に
住む権利をもつ。
それを保障する。

住宅は職住一体型住宅とする。

2 ひとつの町内会ごとに
町内会サロンをつくる。

町内会サロンは、幼児・学童・高齢者支援機能を持つ。
町内会サロンは、行政窓口機能、小口金融窓口機能(ATM)を持つ。
町内会サロンは、カフェ、多目的ホール、宿泊機能を持つ。

3 公共交通網の充実

市全域まで行き届く市民無料の
ミニバス網・ミニタクシー網をつくる。

4 横浜市の観光収入を現在の
約5,000億円から1兆円にする。

山下埠頭に各国の文化が集まった世界町家をつくる。
滞在型の観光拠点にする。
中央卸売市場を観光地化する。
米作を復活し、田園地帯の景観をつくる。

やまもと
りけん
山本理顕

プロフィール 1945年、北京生まれ、横浜育ち。建築家・山本理顕設計工場。

青木小学校卒業、関東学院中等学校(三春台)卒業、日本大学理工学部建築学科卒業、東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了、東京大学生産技術研究所研究生。2002-2007年工学院大学教授、2007-2011年横浜国立大学大学院教授、2018-2022年名古屋造形大学学長、2022-2024年東京藝術大学客員教授、2024年より神奈川大学客員教授、横浜国立大学名誉教授・名誉博士。日本大学名誉教授・名誉工学博士。1988年、2002年「日本建築学会賞作品賞」、2001年「第57回日本芸術院賞」、2024年度プリツカー賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、神奈川文化賞受賞